

CATEGORY
催しもの

県内プロスポーツチームの
レアグッズを展示中!

久光スプリングスのサイン入りボールや佐賀バルナーズのB3優勝トロフィー等の品々を展示しています。



期間 1月31日(月)まで 9:00~22:00

ところ SAGA TRACK(県庁新館 地下1階)

詳しくは SAGA2024総務企画課
☎0952(25)7322

SAGA SEA 2021
~CLOSING THE DISTANCE~

佐賀とオランダの“再会”が育む新たな文化をテーマに、オランダ出身のドラム奏者セバスティアン・カプティンと日本の音楽家によるジャズコンサートを開催します。

とき 2月6日(日) 16:00 開演(開場 15:00)

ところ 嬉野市社会文化会館 リパティ(嬉野市塩田町)

料金 一般/大学生 3,000円 高校生以下 無料

申込期限 1月31日(月)まで

※2月5日(土)は、ワークショップを開催します。
申し込み方法など、詳しくはホームページをご覧ください

詳しくは 文化課 ☎0952(25)7236

県立文化施設 イベントスケジュール

施設名	1月	2月上旬
博物館 美術館(佐賀市) ☎0952(24)3947 維新博メモリアル展示 “幕末維新記念館”	画業50周年 女性が輝く未来 一瞬間の“煌めき” 中島潔 令和の心を女性に描く 1/1(祝・土)~2/13(日) コレクション展 「忠吉から忠広へー集結! 初代忠吉ー」 2/1(火)~3/6(日)	
佐賀城本丸 歴史館(佐賀市) ☎0952(41)7550 維新博メモリアル展示 “弘道館”	大隈重信没後100年・鉄道開業150年記念特別展 「陸蒸気を海に通せ!」 1/23(日)まで 特別展記念講演会 ※要HP申込 「大隈重信の生涯と思想」 講師/伊藤 之雄氏 (京大名誉教授) ●1/15(土) 13:30~15:00 (開場13:00)	テーマ展「龍造寺家の刀と文書」 2/1(火)~3/6(日)
名護屋城 博物館(唐津市) ☎0955(82)4905	テーマ展「亀井家に伝わった異国のかけら」 なごや歴史講座 「亀井家に伝わった異国のかけら」 ●1/16(日) 13:30~15:00 亀井家資料 鑑下	2/6(日)まで
九州陶磁 文化館(有田町) ☎0955(43)3681	第53回有田工業高等学校卒業制作展 1/18(火)~23(日) 第32回九州陶磁器デザイナー協会展 1/25(火)~30(日) 改修工事による臨時休館 2/1(火)~3/31(木)	
宇宙科学館 (武雄市) ☎0954(20)1666 ※要観覧料	冬の企画展「オーロラを体感! オーロラメッセージャー中垣哲也オーロラ展」 2/13(日)まで 字幕つきプラネタリウム 「冬の星座を楽しもう」 ※要プラネタリウム観覧料 定員 70~100名(先着順) 1/29(土)~30(日) 12:00~12:30	

休館日 毎週月曜日(祝・休日のときは翌日)、ただし佐賀城本丸歴史館を除く。【博物館・美術館】12月29日(水)~31日(金)は休館。【佐賀城本丸歴史館、宇宙科学館】12月29日(水)~令和4年1月1日(祝・土)は休館。【九州陶磁文化館、名護屋城博物館】12月29日(水)~令和4年1月3日(月)は休館。【図書館】12月30日(木)~令和4年1月3日(月)は休館。1月4日(火)~2月中旬(予定)は臨時休館。【公文書館】12月29日(水)~令和4年1月3日(月)は休館。

開館日 【中之小路資館(旧知事公舎)(佐賀市)】1月8日(土)、22日(土) 9:00~17:00 ※要美化協力金

SNSで
佐賀県情報を発信中!

YouTube
佐賀県
情報発信所

LINE
佐賀県
公式アカウント

Twitter
佐賀県
広報広聴課

佐賀県の推計人口 令和3年
11月1日現在

人口 806,017人(前月比 275人減)
男:381,921人 女:424,096人
世帯数 314,174世帯(前月比 12世帯増)

さがスポ インフォメーション

佐賀を代表するトップチームの試合を紹介!
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により
変更となる場合があります

佐賀BALLOONERS
男子バスケットボールB2リーグ 佐賀開催

場所/SAGAプラザ(総合体育館)

1月29日[土] 16:00~ VS 愛媛オレンジ
1月30日[日] 14:00~ VS バイキングス

2月5日[土] 16:00~ VS バンビシャス
2月6日[日] 14:00~ VS 奈良

詳しくは スポーツ課 ☎0952(25)7334

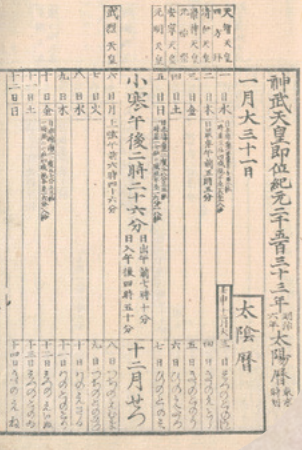
大隈重信伝

2度の総理大臣を務め、早稲田大学の創立などさまざまな偉業を残した大隈重信。2021年に100回忌を迎えた大隈重信にまつわる数々のエピソードをご紹介します。

時の文明開化 太陽暦を導入

明治政府は1872年(明治5年)、太陽暦の導入を決め、その年の12月3日を明治6年1月1日と改めました。この明治の改暦を主導したのが大隈重信でした。それまでの暦法は月の動きをもとにしており、2、3年ごとに「閏月」が入るなど不便なものでした。一方、太陽暦は季節とのずれが少なく、4年ごとに1日の「閏日」を置くだけで済みます。そこで、政府は明治5年11月に改暦を公布し、翌月(12月)3日を明治6年1月1日としました。公布から20日余りでの施行で混乱も生じましたが、国民に時代が変わったことを意識づけました。

「岩倉使節団」で政府首脳陣が欧米諸国を訪問中だったため、参議だった大隈が



▲改暦後、作成された暦(提供:国立国会図書館)

特別動画
NHK大河ドラマ「青天を衝け」
×
大隈重信100年アカデミア
NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大隈重信役:大倉孝二さんと大隈綾子役:朝倉あきさんから、応援メッセージをいただきました。

コチラから

「留守政府」で諸改革を推進。欧米諸国と同じ暦法に改めることは、条約の締結や会合の約束の際に不便をなくすために必要な改革でした。また、年末が迫る中で慌ただしい公布と施行は、政府の財政難も要因だったといわれています。旧暦では翌年に閏月が入り、役人への月給支給額が1カ月分増加してしまうため、太陽暦に改めることで閏月分の支給を削減。12月3日が元日になることで12月分の月給も省きました。大隈は回顧談「大隈伯昔日譚」でそうした理由を説明し、「断然、暦制を変更する外なし」との判断に至ったことを述懐しています。(協力:佐賀新聞社)



プライド オブ サガ
Pride of SAGA



「世界料理学会in豊洲」では、研ぎの話の世界の料理人たちに発信。



工房で包丁を研ぐ坂下さん。一本一本に真剣に向き合います。



さしかた かつみ
坂下 勝美さん

1943年兵庫県生まれ。2歳の頃に佐賀県に移り、22歳で包丁研ぎの世界へ。みやき町の工房「二葉商会」には全国の料理人から、研ぎ直してもらったための包丁が届き、予約は2年半待ち。これまで手掛けてきた包丁は20万本以上。

素材の味を引き出すため、包丁を研ぎ澄ます

日本橋や京都をはじめ、全国の名店で腕を振る一流料理人に愛される包丁。その切れ味を生み出すのが包丁研ぎ職人の坂下勝美さんです。日本中から届く包丁を「研ぐ」作業のほか、柄にもこだわり料理人に合わせた包丁の受注生産も行っていきます。近年はメディアでも紹介され、全国にその名が知れ渡るようになりました。切るとき、摩擦を極限まで減らした坂下さんの包丁について、ある料理人は「すーっと切れるので、素材が何十倍にも美味しくなる」と言います。「魚も野菜もすべて天然のものだった昔と今では食材の柔らかさが違います。時代に合わせて包丁の研ぎ方も変えなければ。料理人に包丁を研ぐという工程の大切さを伝えるのも私の仕事です」と語る坂下さん。素材の味を引き出す極上の切れ味を、その手で生み出し続けます。